



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより

令和 5年 2月 3日

第 21 号

<ジェスチャーだけで道案内～4年生がチャレンジしました。>

1月25日(水)、登美ヶ丘イオンから鹿ノ台小学校まで、ミッション(「木の葉を3枚拾う。」「横断歩道を白いペイント部分だけ踏みながら渡る。」「走っている車3台のナンバーを覚える。」など、果たさなければならない任務をミッションと言います。)をクリアしながら、生駒市キャリア教育プランナーの尾崎さん



をジェスチャーだけで道案内しました。尾崎さんはイオンを9時に徒歩で出発。話せない・聞こえない世界を想定して、4年生はグループごとに、尾崎さんと意思疎通を図る方法を考え、何とか11時半に鹿ノ台小学校に来ていただくことができました。どのクラスも授業時間の最後には、「こうすれば伝わりそうだ。」と知恵を出し合い、伝わった時のうれしさをみんなで体感していました。この授業で、バリアフリーとは耳の不自由な方のためだけではなく、言葉が通じない外国の方とのコミュニケーションなど、自分が伝えたい気持ちを相手に伝えることであり、その時に重要なのがジェスチャーだということが分かりました。

<3年生理科「音のせいしつ」の授業を公開しました。>

1月26日(木)に授業を公開したのは3年2組です。生駒市内で理科授業を研究する先生方がいらっしゃいました。「糸電話はどうして声を伝えることができるのか?」という先生の問いに始まり、最後は、太鼓の音は空気を震わせていることを学習した授業でした。

子どもたちは、グループで話し合う時でもクラス全体で意見を出し合う時でも臆せず、自分の考えをどんどん発表していました。間違っているかもしれないし、と引っ込み思案になって発言できない子が少なかったよう



に思います。…これが中学年の特徴かもしれません。にぎやかで活発、自ら学ぼうとしている姿が他校の先生方にも印象的だったようです。学んだことを日常生活に活かしたり、学んだことから日常生活の様々な現象を説明したり、理科で求められる学びの姿を子どもたちは見せてくれました。

<明日は立春ですが、まだまだ寒さが続きます。>



1月末の大寒波では、学校中が真っ白になりました。降りしきる雪にすっかりテンションが上がった子どもたちは、傘も持たずに運動場に出て大はしゃぎでした。観察池は氷が張り、立ち入り禁止にしているにも関わらず、見物する子どもたちでいっぱい。1月31日はプールにも氷が張っていました。

この寒さに負けず、1年生が体育で縄跳びをしていました。前跳びを20秒がんばる



ようにとタイマーがセットされています。ところが、あれあれ??…みんなのいるところから外れて、運動場の隅へトボトボ歩いて行った子がいます。けがをしている足のすねに自分の跳び縄が当



たって、あまりの痛さに気が滅入ってしまったようでした。また、鉄棒前では体育をしないで一人で遊んでいる子もいます。そのような子どもたちには、授業支援ボランテ

ィアの方が優しく声をかけ、授業に戻るよう促してくださっていました。

さて、授業支援ボランティアは、体育や図工、家庭科の授業で、子どもたちの学習活動の補助をしていただくボランティアさんです。やってみようと思われる方がいらっしゃいましたら、どうか本校(78-6282)までご連絡ください。

<給食センターの職員さんがいらっしゃいました。>



栄養士さん2名と調理員さん3名が卒業を控えた6年生の食育指導に来られました。3名の調理員さんのうち2人は鹿ノ台小学校の保護者さんです。6年間で食べた給食は1000回以上だと知り、驚きました。…さて、栄養士さんに教えてもらったのですが、2月の給食献立は中学生の入試を意識した献立の

ようです。運氣アップ・実力アップ(2/7 アップルパン、2/14 きなこあげパン、2/20 あげたこ焼き)、穴が開いていて見通しが良い(2/7 レンコンのソテー、2/27 ちくわとレンコンの天ぷら)、合格で春来る(2/9 花野菜ソテー、2/28 春巻き)、勝つ・活!(2/8 とんかつ)、最強!(2/15 西京焼き)、**出世**魚(2/10 ぶり香味焼き)、粘り強さ(2/27 納豆)。献立を考えられた栄養士さん、あっぱれです。